



QPA会通信 ≪No.81≫ 2023年 第5号

2023年10月26日 一般社団法人公園管理運営士会発行

1 【徒然公園記】 国営昭和記念公園 開園 40 周年に思う

大橋 謙一（西武造園㈱、元国営昭和記念公園事務所長）

昭和 58 年（1983）10 月 26 日、国営昭和記念公園（東京都立川市昭島市）が開園した。今からちょうど 40 年前のことである。当初の開園区域 70ha。（現在 169.4ha）

この公園、整備される前どんな場所だったかご存じだろうか。ここは米軍立川基地跡地であった。さらにそれ以前、日本陸軍の施設であったことなどは、すでに「歴史」の範疇であろう。

そもそも、この公園は昭和 50 年（1975）に「緑の回復と人間性の向上」をテーマに、当時の建設省が昭和天皇御在位五十年記念事業として提案したもので、昭和 53 年度に事業着手された。

当時は、都市公園等整備五箇年計画に基づき、全国で都市公園の整備が拡大しようとする時期で、この公園も造園技術を結集する勢いで公園づくりが進んだ。公園予定地内にあった 1,300 本余りの「景観木」の保存活用、表土の保全や建設残土を活用した植栽基盤づくり、さらに、自転車専用コース、管理用の外周園路、トイレ洗浄水の中水活用など、先輩格の国営武蔵丘陵森林公園での経験も踏まえ、先進的で科学的な技術を駆使して、新しい公園整備が進んだ。また、公園整備に並行して周辺の道路計画や各種の開発計画も進んだ。

当初の開園区域はカナル、ふれあい広場、みんなの原っぱなどで、それまでに見たこともないような芝生の広がりが入園者に好評であったが、当時の入園料（大人 350 円）は「高い」、「税金の二重取り」などの芳しくない声もあった

その後、水鳥の池、こどもの森、日本庭園、こもれびの丘や里、緑の文化ゾーンなど魅力的な施設が充実してきた。今や多摩丘陵と狭山丘陵を結ぶ緑のネットワークの拠点となった。また、広い開園区域を活かしたイベント（野外コンサートや園内マラソンなど）も開催されるようになり、着実に入園者数を増やしていった。（昨年 4 月に開園以来の累計入園者数が 1 億人を超えた。）

なかでも「みんなの原っぱ」での大規模な花修景は、今や公園の魅力ナンバーワンであろう。この花修景は公園整備の一環で実現したのではなく、公園管理の取組みによって大きく“開花”した。また景観木として残した「かたらいのイチョウ並木」が秋になると“黄色い世界”になる演出も公園管理の成果である。こうした花や緑を活用した公園づくりや管理運営の手法は全国に広がっている。市民との協働は開園後にボランティア団体の結成やイベント開催など数多くの取組みが進み、今や公園の管理運営に不可欠なものになっている。

今後の注目は、公園の南西部の昭島口一帯で進められようとしている抜本的な再整備。民間事業者の知恵と技術を活かす手法が検討されている。この一帯が公園の魅力をどのように高めていくのか楽しみである。

このように公園整備や公園管理（維持管理より広範な取組み）の充実は、基地跡地の開発の先導役を果たし、直近の立川駅やその周辺地域の整備を誘発し、公園との相乗効果が生まれることで、市民や地域の活力を高め、多摩地域の活性化（商業集積・多摩都市モノレールなど）をもたらしてきた（と思う）。その昔「基地のまち」と言われたこの地域のイメージは消え、「公園のあるまち」に変わり、公園だけでなく周辺地域を含め、多くの市民が集い楽しめるまちになってきた。このような社会的効用を生み出してきた「公園の力」を感じているこの頃である。



2【会員の声】 国営昭和記念公園 花のおもてなし



廣瀬 健太 ((一財) 公園財団)

私は今年の2月から、東京都立川市・昭島市に設置されている国営昭和記念公園に勤務しています。新型コロナに伴う行動規制の解除により公園にも賑わいが戻りつつありますが、コロナ禍前の年間400万人前後のお客様にはまだまだ届きません。

しかし、令和4年4月には累計入園者1億人を超え、令和5年10月26日には開園40年を迎えます。詳細は【徒然公園記】に大橋元公園事務所長が執筆されていますが、開園当初70haであった公園は169.4haとなり、「森、広場、水、展示施設、みどりの文化」と5つのゾーンに、特徴ある施設や遊具が設置されています。公園の管理運営業務はハードからソフトまで多岐にわたりますが、ここでは7割以上のお客様が来園動機としている花修景（花によるおもてなし）についてご紹介します。

当公園では一年を通じてお花を楽しめるよう、花木や宿根草と6つの花畑とを組み合わせ管理を行っていま

	春 3~5月	夏 6~8月	秋 9~11月	冬 12~2月
見頃の植物	ミモザ	シャーレーポピー	レモンブライト	ロウバイ
	ウメ	サトザクラ	ユリ	コスモス
		ナノハナ	ヒマワリ	ブーケガーデン
	サクラ	ブーケガーデン	ハス	ヒガンバナ
	ハナモモ	ボタン		セツブンソウ
		サルスベリ		フクジュソウ
		チューリップ	ナツスイセン	カンツバキ
		ムラサキバナ		パンパスグラス
	ネモフィラ	ハナショウブ	キンモクセイ	サザンカ
	ヨウスイセン		スイレン	黄葉
	クリスマスローズ	ヤマボウシ	サギソウ	ヨウスイセン
	ニホンズイセン	フジ	アジサイ	紅葉
			クリスマスローズ	
			ニホンズイセン	

花カレンダー

す。公園の中心にある広場「みんなの原っぱ(25ha)」に3つの花畑を設置し、春と秋に大規模な花修景を行っています。以前は2つの花畑でしたが、連作による生育不良を避けるため1か所増設してローテーションさせています。毎年の開花リレーは、ウメやフクジュソウ、クリスマスローズ、

原っぱ花畑のナノハナから始まります。ナノハナの黄色と原っぱ北側の「桜の園」に植栽されたソメイヨシノとのピンクが春を演出し、隣接する溪流広場では約25万球のチューリップが水辺を彩ります。ご存じの方も多いと思いますが、このチューリップガーデンは平成15年(2003)に、球根花では世界最大のオランダキューケンホフ公園の元園長ヘンク N.T.コスター氏から技術指導を受けスタートしました。環境と時代の変化に合わせ見直しを繰り返し現在に至っています。もう一つの花畑は「どこを切り取っても花束のように」と、多品種の草花が咲き変わっていく「ブーケガーデン」です。さらに園内最大の花畑「花の丘(11,400m²)」では、全面のシャーレーポピーが真っ赤な絨毯を演出します。梅雨から夏はア



ジサイやヒマワリ、サルスベリと続き、秋には秋咲き草花のブーケガーデンとコスモス(キバナとセンセーション)で各花畑を飾り、園内に多数植栽されたキンモクセイがオレンジの花と香りで楽しませてくれます。秋の深まりとともにカエデ類やイチョウが色づき、園内2か所のイチョウ並木や日本庭園では、見事な黄葉・紅葉となり、夜はライトアップも行います。冬季は少しお休みですが、暖くなるにしたがって、スイセン、セツブンソウが咲き出し、ウメやフクジュソウへのリレーが始まります。その

他にも、夏にはボランティアさんが通年管理を行っているサギソウの展示、秋には草月会東京西支部様全面協力により、園内の伐採木や剪定枝等の植物性発生材を活用した野外インスタレーションが開催され、生きている植物だけではなく発生材にも装飾や演出に活躍してもらっています。

来年令和6年には、日本庭園内の盆栽苑が開苑20年を迎えます。国風盆栽展出品クラスの錚々たる盆栽が揃っている盆栽苑、どのような20周年記念にするか構想中です。魅力いっぱいの国営昭和記念公園、ぜひ、皆さまのお越しをお待ちしております。



3【オススメ公園】三重県営 北勢中央公園

安藤 尚慶（株名阪造園）

三重県北勢部に位置する、四日市市、菰野町、いなべ市にまたがる全体計画面積 98.1ha の三重県の県営都市公園です。公園整備方針として、生涯学習のできる自然体験型の公園を目的として整備を推進している公園であり、「自然を活かした公園づくり」「生涯学習・体験学習のできる公園づくり」「家族で楽しみ健康維持のできる公園づくり」「住民参加による公園づくり」の4つの整備方針のもと、段階的に拡張工事が行なわれてきました。

北勢中央公園の施設

現在テニスコート、野球場、芝生広場、水のプラザ、沢の森、多目的広場、自然探索エリアなど 40.6ha を開園しています。

また、硬式野球場：1面、テニスコート：12面の、どちらもナイター可能な有料施設があります。

■北勢中央公園の自然環境

鈴鹿山脈に源を発する朝明川、員弁川流域の河岸段丘上の台地であって、森林、畦畔草原、水田、河川、ため池などから構成される、豊かな里山の生態系の中に立地しています。

この恵まれた自然環境に囲まれて、スポーツレクリエーションを楽しみ、憩い、安らぎ、また里山の自然に触れ、学ぶことができるのは、北勢中央公園の最大の魅力です。

■北勢中央公園の生態系の特徴

- 森林・草原・水辺がセットになった生態系を持つ北勢中央公園は、
- 森、草原や芝生、ため池の水面がそれぞれ大きな規模で隣接する
- それを背景にした多様性の高い自然環境
- 近隣の他の公園では得難い魅力

北勢中央公園の一つの見どころである桜などの樹木管理においても、あくまでも自然樹形であることにこだわり管理しております。

■里山ガーデニングの取り組み

自然探索エリアの一部を利用して、里山ガーデニングの取り組みとしてバタフライガーデンの導入に取り組んでいます。バタフライガーデンは、周辺里山の中に素材を求め、野の花やチョウの吸蜜植物、食草などを用いて、里山の生態系を活かした空間としています。導入種は、訪花昆虫の吸蜜植物となる野草種を中心に、圃場で栽培したノアザミ、ヒヨドリバナ、フジバカマ、オトコエシ、クコ、ガマズミ、ヤブカンゾウなどを植栽して参りました。中でもヒヨドリバナについては、バタフライガーデンにとどまらず、自然探索エリアの草地全体にわたって要所に群落で植栽することで、秋のアサギマダラの来訪を期待しています。

こうした取り組みに当たって、訪花昆虫のモニタリングを平行して行い、中長期的なバタフライガーデンの効果の検証を行っていく予定です。

今後、訪花昆虫のなかでも様々なチョウ類の舞う空間を作り出すことで、公園の生物多様性のみならず、公園の風景として「映える」空間を演出していく予定です。また、季節ごとに案内マップをおいてセルフガイドとして各箇所の見どころを掲示しています。

今年、ホームページをリニューアルし、特にスタッフ日記ではリアルタイムで生態系の様子を発信していくことで、北勢中央公園ならではの生態系を学びながら散歩できる場所です。是非、散策しながら北勢中央公園の自然を楽しんでみてはいかがでしょうか。



ナイター可能な有料施設



朝明川、員弁川流域の恵まれた自然



里山の生態系の中に立地



季節ごとに魅力のある公園

4 支部だより

■北海道支部【支部活動報告】

「東日本に花を咲かせ隊」の支部活動として、6月に滝野すずらん丘陵公園で掘り取ったチューリップの球根を公園ボランティアの協力を得て清掃・選別し、10月3日に計2,400球を宮城県・岩手県の3箇所に発送しました。

コロナ禍の影響で4年ぶりの送付でしたが、来年は数を増やしてほしいとの要望もさっそくいただいています。

■中部支部【支部活動報告】

10月2日(月)都市公園における「樹木日常点検講習会」を愛知県宮熱田神宮公園で樹木医を講師に招き開催しました。座学で樹木点検のポイントの講習を行い、続いて公園内の実際の樹木で、点検の仕方、ポイント、点検票の書き方の講習を行いました。

会員及び行政関係者で、36名の方に参加いただきました。



5 関係団体からのお知らせ

■第39回都市公園等コンクール受賞作品が決定

(一社)日本公園緑地協会が主催する「都市公園等コンクール」の受賞作品が決定しました。コンクールは、供用を開始している都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設、管理運営に係る作品を広く募集し、特に優秀な作品の設計、施工、管理運営等を実施した者を表彰することにより、都市公園の設計、施工及び管理運営等の技術水準の向上および新たな時代の都市公園の創造に寄与することを目的とします。

令和5年度第39回都市公園等コンクール受賞作品が決定しました。受賞作品は下記URLよりご確認ください。

<https://www.posa.or.jp/summary/summary06/prize/>←クリック

■2023 LBA フォーラム 「健康 × G I × ランドスケープ経営」

ランドスケープ経営研究会は、『これから「健康」や「Well-being」を通して、「ランドスケープ経営」と建設分野のみならず福祉・教育・観光・地域振興・コミュニティづくりなどの関連分野との連携を、具体的にどのように図っていくか』をテーマにフォーラムを下記の通り開催します。

1. 基調講演 緑と人の健康 岩崎 寛 (千葉大学大学院園芸学研究院 教授)

2. パネルディスカッション

話題提供 Well-being 向上のための社会的処方とバイオフィリア 浦崎 真一 (大阪芸術大学芸術学部建築学科 准教授)

グリーンインフラと Well-Being

一丸 結夢 (国土交通省 総合政策局 環境政策課 課長補佐)

ランドスケープにおける Well-being と LBA の役割

萩野 一彦 (ランドスケープ経営研究会 (LBA)代表幹事)

意見交換 パネリスト: 岩崎寛、浦崎真一、一丸結夢、萩野一彦

モデレータ: 高橋和嗣

3. 交流会 18:00-20:00 (会場のみ: 別途 3,000)

○参加費 : フォーラム LBA 会員 : 無料、非会員 : 3,000 円、学生 : 無料

○詳細はこちら : http://www.lba-i.org/%E6%B4%BB%E5%8B%95%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%95%E3%82%99/#link_20231108←クリック

連絡先など変更時の事務局へのご連絡のお願い

QPA 会通信をはじめ、会員の方々へのご連絡は原則 E-mailで行っています。E-mailをはじめ、所属先の住所などに変更があった場合、忘れずに事務局までご連絡ください。

一般社団法人公園管理運営士会 事務局

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-3-7 近江会館ビル 8 階

TEL:03-3527-3542 FAX:03-3527-3543 E-mail: info@qpajp.com URL: http://qpajp.com